

地神（じしん）さん

ほとんどが明治以降の造立で、県内では岡山県境に近い地域に多く祀られているという。八幡地区では、受原3、菅2、篠原1、田黒1、三草1、川島1で合計9個確認されている。

今も「地祭り」時には丁寧に祀られ、注連縄が巻かれる。流水できれいに磨かれた丸っこい川石に大きく刻まれた「地神」の文字は、人々の大地への祈りと感謝の気持ちが伝わってくる。

田黒には、「大正七年十一月吉天」と刻まれた地神さんがある。これは、槇戸井手が洪水で壊れたとき、いわれの有りそうな立派な石が出てきたのを見て、田辺茂次郎氏や田辺善作氏らが相談し地神さんとして祀ることにしたという。

（東城町森田黒土地改良区「よみがえる飯の里」）

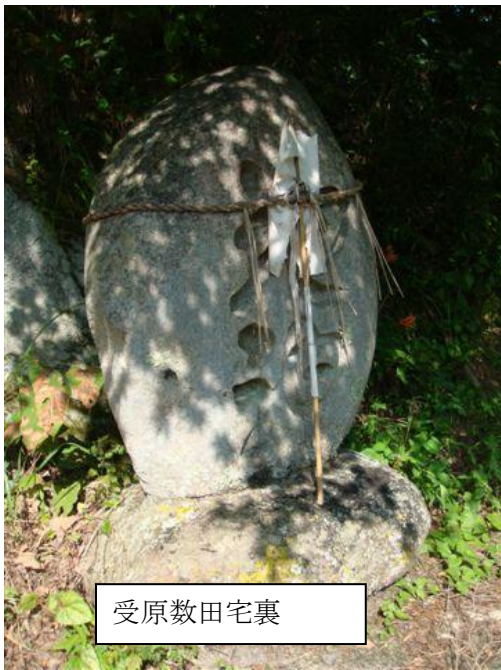




田黒正原下滝前



篠原育苗センター入口



受原数田宅裏



菅国司神社前



川鳥玉田宅前



三草